

笠間市第 2 次総合計画審議会における意見の反映等について

これまでの審議会での意見並びに意見再聴取における意見について、計画への反映等を以下のとおり整理しました。

(1) 総論及び将来ビジョン（基本構想）に反映したもの

項目	意見・指摘事項等	対応
総論 計画策定の背景 社会情勢	・「安心・安全意識の高まり」は、「安全・安心意識の高まり」ではないか。	・「安全・安心」に文言を統一し、施策の大綱第 2 章生活環境に反映しました。
総論 計画策定の背景 社会情勢	・「犯罪は減少傾向にあるなか、ニセ電話詐欺や児童虐待、DV、ストーカー事案などの子ども、女性、高齢者が被害者となる犯罪はあとをたたず、自動車盗や住宅等への侵入窃盗などの市民の身近に発生する犯罪により、不安を抱く人が少なくないことから、こうした犯罪を防ぎ、地域社会の安全安心を守る」としてはどうか。	・地域社会の安全を守るという視点で文章を修正し、施策の大綱第 2 章生活環境に反映しました。
総論 計画策定の背景 本市の現状と課題	・「高齢者を対象とする悪質商法やニセ電話詐欺による被害の発生や、自動車盗や住宅への侵入窃盗など市民の身近に発生する犯罪などにより、不安を抱く人がいることから市民が安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現が求められています。」としてはどうか。	・高齢化社会の中で高齢者を対象とした犯罪への対策の視点で文章を修正し、施策の大綱第 2 章生活環境に反映しました。
総論 計画策定の背景 本市の現状と課題	・農家数の推移における自給的農家数とは何か。	・「経営耕地面積が 30a 未満で、1 年間における農産物販売金額が 50 万円未満の農家を指します。」の用語解説を追加しました。
総論 計画策定の背景 本市の現状と課題	・凶について扶助費とは、人件費とは、の用語説明、解説も必要。	・「扶助費とは、社会保障制度の一環として、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基つき、対象者に対して支出される福祉的な経費です。」「人件費

		とは、議員や特別職、一般職員の給料・諸手当などや各委員等の報酬です。」用語解説を追加しました。
将来ビジョン 序章	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナスの部分への対応だけでなくプラスの部分伸ばしていくという視点が欲しい。 ・人口減少に対し「コンパクト」「抑制」「現状維持」といった前向きな表現が欲しい。 ・新しい総合計画を作っていくにあたって、市民の協働意識を喚起する必要がある。 ・笠間市の特徴が感じられる文言が入ってくるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来ビジョン（基本構想）まちづくりの基本方針において、意見を踏まえ、文章及び図表を整理しました。
将来ビジョン まちづくりの 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの基本方針を示す図中標題に新たな挑戦を図に入れる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>人口減少時代への「新たな挑戦」として 「人口減少抑制」「地域経済活性化」 「交流人口拡大」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・図に「人口減少抑制・地域経済活性化・交流人口拡大」の文言を図中に追加しました。
将来ビジョン 土地利用構想	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクト+ネットワークの考えを。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用上の重要な課題として捉え、土地利用構想第1節土地利用方針に反映しました。
将来ビジョン 施策の大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくりを進める必要がある。 ・自然環境の保全が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の大綱第2章生活環境の防災・危機管理、環境保全施策に反映しました。
将来ビジョン 施策の大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致に力を入れていくことが、笠間市にとって重要となる。 ・働く場の確保が重要となってくる。 ・海外（輸出）に目を向け、しっかりと取り組んでいく必要がある。 ・農業の法人化という視点をもつ必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の大綱第4章産業の企業誘致、雇用・労働環境施策に反映しました。
将来ビジョン 施策の大綱	<ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏に向けたPRをしていくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の大綱第7章自治体運営の広報・公聴施策に反映しました。

(2) 施策アクションプラン（基本計画）に反映を検討するもの

取組分野における施策の充実を図るため意見の反映を検討してまいります。

○都市基盤

- ・鉄道強化、ダイヤ強化、特急増便、水戸線の改善、駅利便性向上（笠間駅など自由通路化）

○生活環境

- ・防犯の分野において、教育分野との連携を強め、子どもの安全を確保していく必要がある。
- ・市内に大規模な太陽光発電設備の設置が数多く見受けられ、自然災害の危険や景観の悪化などが懸念される。
- ・住民生活に関する議論が少なく感じる。人口流出抑制のためにも生活環境の充実は大切と考える。
- ・再び、災害対策がクローズアップされている。地震対策、住宅の耐震化、診断補助や改修補助、大雨対策、ハザードマップの充実。
- ・高齢者の交通事故に触れたほうがよい。

○健康・福祉

- ・AEDの設置を促進する必要がある。
- ・子育て支援について、出産・子育てから教育までの一貫した支援体制が望まれる。学習塾等を含めた教育関連施設のマップや市内の病院などの医療マップなどがあると良い。
- ・高齢者が働くことによって、心身ともに健康で活力ある社会が実現できると考える。健康寿命延伸に向けて、高齢者が働ける環境の整備が必要となってくる。
- ・高齢化を主な要因として、がん罹患の確率が高くなっている。笠間市は、がん検診の受診率が低く、がんを含めた生活習慣病による死亡者数も5割を超えていることから受診率の向上対策による早期発見・治療の推進が必要である。

○産業

- ・農林業の施策について、農業と林業を分けて整理する必要がある。
- ・耕作面積を増やすばかりでなく農業収入の増加に繋がる取組が重要と考える。
- ・農業経営の法人化によるメリットは、栽培作物にもよると思われる。法人化への勉強会など、勉強会を実施する際も農業者が参加できるような体制を作してほしい。
- ・農地の保全は、多面的機能の維持する地域の担い手の共同活動によって支えられており、農家数の減少や、地域の農業者の高齢化が進み、活動団体の役員の成り手も不足している。農地集積事業の成果はでてきているが、担い手不足に伴い農地保全の課題が多い。
- ・イノシシ被害が増大している。今後、捕獲したイノシシをジビエとして食用等への利活用をしていくことが必要ではないか。
- ・観光業について、旅行会社にもプラスになるような仕組みづくりが大切と考える。

○教育・文化

- ・市内には、若者がやりたい事ができる環境や施設が無い。例えば、音楽の市民イベントなどがあると良いのではないか。

○地域づくり

- ・消防団統合に伴う空き施設（詰所）について、解体以外の選択も必要である。
- ・伝統的な慣習が消えつつあることをどう捉えていくのか。

- ・市民協働意識について、若者の市政への参加意識が低いと感じる。若者に関心を持ってもらうための勉強会やリーダー研修会などにより意識の高揚を図ってはどうか。

○自治体運営

- ・PRについて、市のアピールが弱いと感じる。市の長所を伸ばすためにも外部に向けてPRをした方が良いのではないか。
- ・つくば市との連携。

○その他

- ・市民1人当たりの平均所得を上げていくために、どういったことをしていけばよいのかを考えていく必要がある。
- ・データ分析、活用といったことが、今後ますます重要になってくる。